

地域自主組織『なわのわ』

「文化祭」「本」「しめ縄」をつくった2020 「掲示板」「講座」「喫茶」をつくる2021

活動が2年目に突入した、なわのわ。なわは（旧名和保育所）を拠点とし、「集まる」「つながる」「やってみる」の3つがゆるやかに循環する場づくりに取り組んでいます。

【みんなで企画を持ち寄った

文化祭「なわの秋」

小さな文化祭『なわの秋（11月8日）』を開催しました。



▲焼き芋スペース。火の回りには自然と人が集まる

毎年恒例となっていた『芋煮会』はコロナ禍を考慮して中止とし、その代替案として『焼き芋会』を開催することに。それ以外の企画について

は、「部屋は余っているので同時開催したい人がいたら」と話し合ったところ、『なわのわさんぽ』『和太鼓体験』『ミニ四駆大会』『フリマ（古着販売）』などの応募があり、結果として、文化祭のような多彩な会になりました。

全てを組織メンバーで企画することとは難しくても、他の方々の協力を得ることで、つくり上げられていく。『#みんなでつくる』の意味を強く感じた学びの多いイベントでした。

【自分の手で「つくる」ことで、

ものづくりの奥深さを知る】

今年度のメイン事業となっているのが『つくるくる』プロジェクト。「イベントをつくる」「チラシをつくる」「お店をつくる」など様々な「つくる」を学び、実践できるような環境づくりを進めています。

『自分の声を本にしよう！〜ZINEという名の自主出版〜（11月1日）』では、湯梨浜町で本屋「汽水空港」を運営するモリテツヤさんを講師に迎えて、「本をつくる」を学びました。普段自分が考えている、ち

よっとしたこと」を文字や絵にして本の1ページをつくる作業では、たくさんの才能が開花していました。



▲「ZINE（小冊子）とは？」を学ぶところから、実際につくるところまで

『縄のわく正月飾りをつくらう』（12月12日）では、梶原集落の大原毅さんを講師に迎えて「しめ縄をつくる」作業を一緒に体験しました。地域ごとのしめ縄の違いなどについての座学があったり、作業中の愉快的雑談があったりと、4時間近くかけて正月飾りを完成させました。

自分の手で一からつくることで、作り手の手間を知り、自由度の高い創作もできる。これがワークショップの醍醐味のように思います。

【地域内の「声」を合わせる

システム+喫茶】

2021年のなわのわでは、名和

にある「学びたい」「教えたい（教えられるよ）」をマッチングできる仕組みづくりができないかと構想中です。そういった情報が集まる掲示板づくりや、講座づくりのサポート体制を整えていければと思います。また、なわほに喫茶スペースをつくるための準備も絶賛進行中です。少しずつではありますが、歩みを進めています。引き続き、掲示板やfacebookページ『なわのわ』等でお知らせをお見逃しなく！



▲しめ縄を作り終えての集合写真

☎ なわのわ事務局

☎ 070・8507・2997

「大見謝（おおみじや）」

✉ nawanowa.info@gmail.com